

MD050_SPF_COS_012 EDI帳票	説明: EDI関連の帳票	作成日	2008/06/17	作成者	ORACLE 木村	更新日	2014/09/12	更新者	SCSK中村	Ver.	1.2
-------------------------	--------------	-----	------------	-----	--------------	-----	------------	-----	--------	------	-----

処理概要

EDI受注に対して出荷作業を行うために、各種ピッキングリストを出力する。
ピッキングリストは下記4パターンが存在し、①～③までは顧客によってどのピッキングリストを出力するか判別される。④に関しては、営業員が営業車に商品を積み込む為に使用するピッキングリストとなる。

- ①ピッキングリスト(チェーン・製品別トータル)
- ②ピッキングリスト(出荷先・販売先・製品別)
- ③ピッキングリスト(出荷先・製品・販売先別)
- ④ピッキングリスト(出荷元保管場所・商品別)

倉庫管理システムの場合、下記3パターンのロット別ピッキングリストを出力する。

- ①ロット別ピッキングリスト(チェーン・製品別トータル)
- ②ロット別ピッキングリスト(出荷先・販売先・製品別)
- ③ロット別ピッキングリスト(出荷先・製品・販売先別)

システム利用者

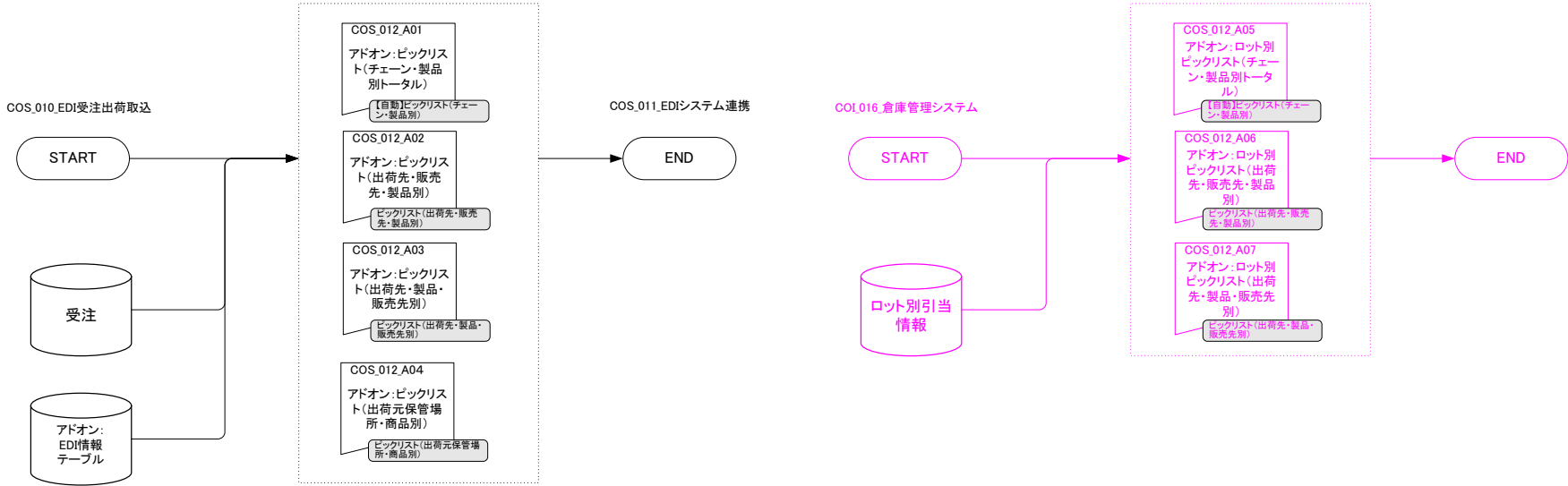
拠点 内務担当者、システム管理者、倉庫管理担当者

処理タイミング、その他

手動による随時実行

システムプロセス 記入時の注意事項

- 機能単位(標準機能含む)で記入すること
- INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- 左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- 1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- 1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:

